

経営比較分析表（令和3年度決算）

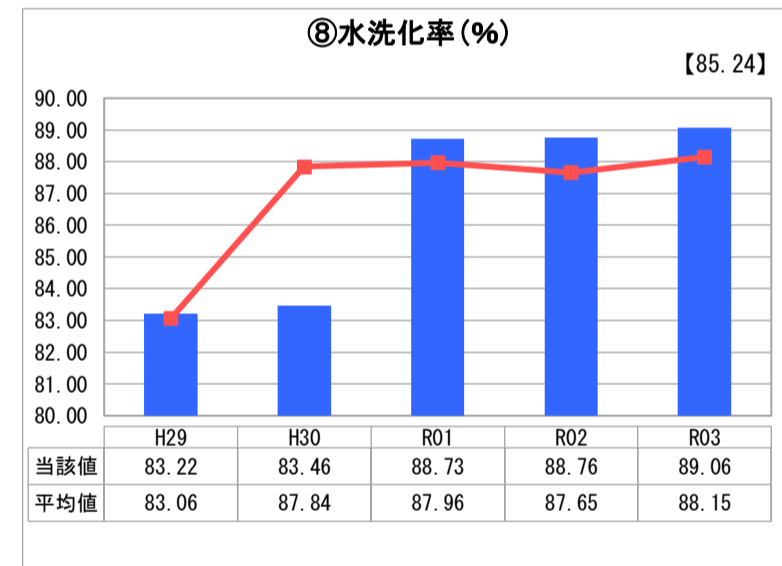
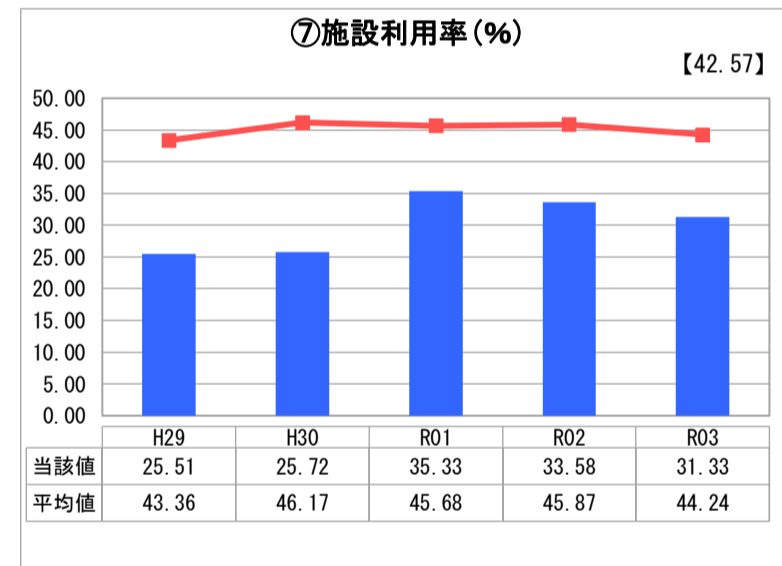
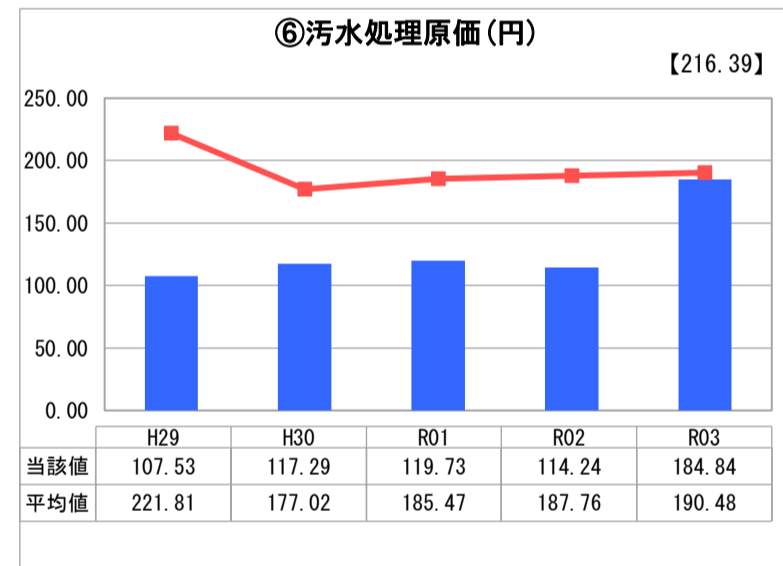
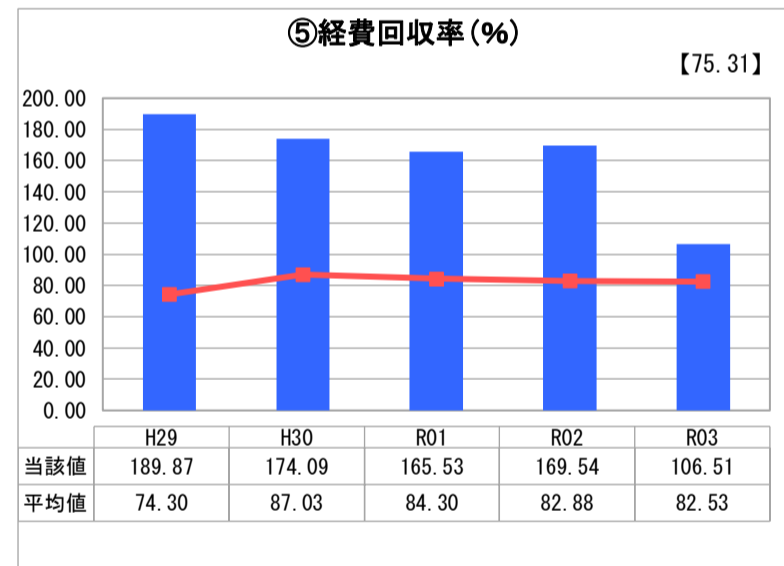
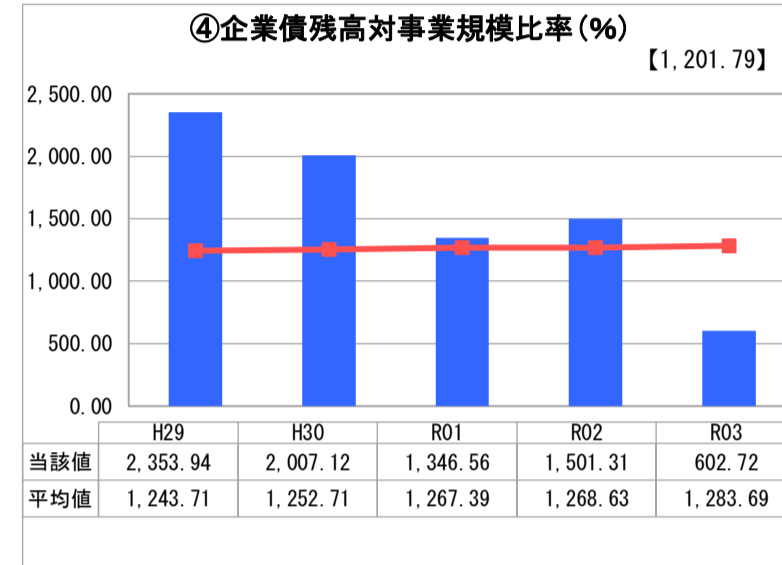
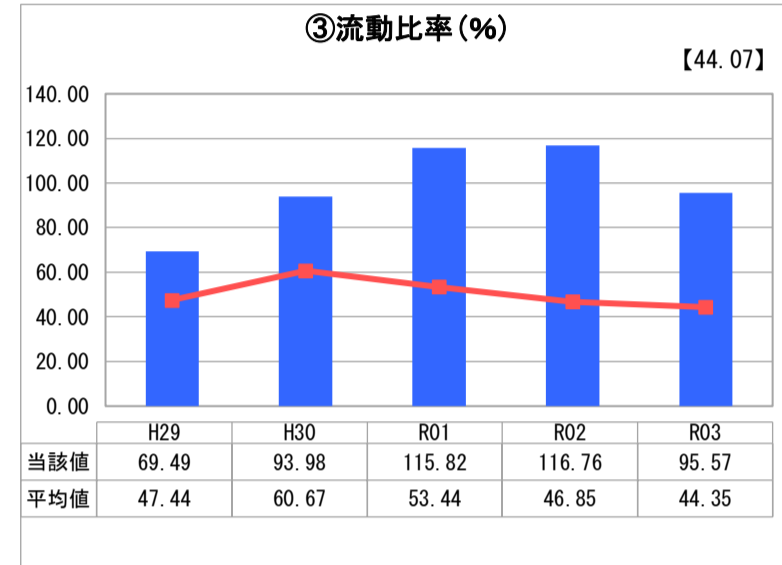
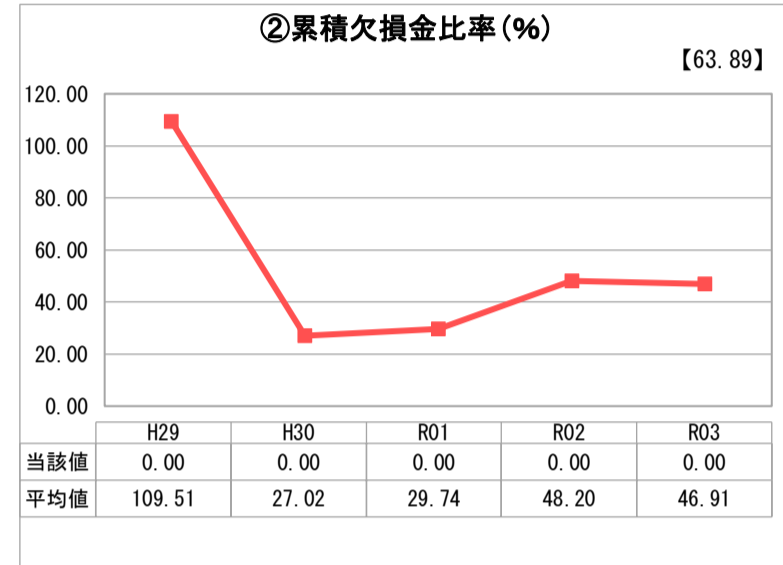
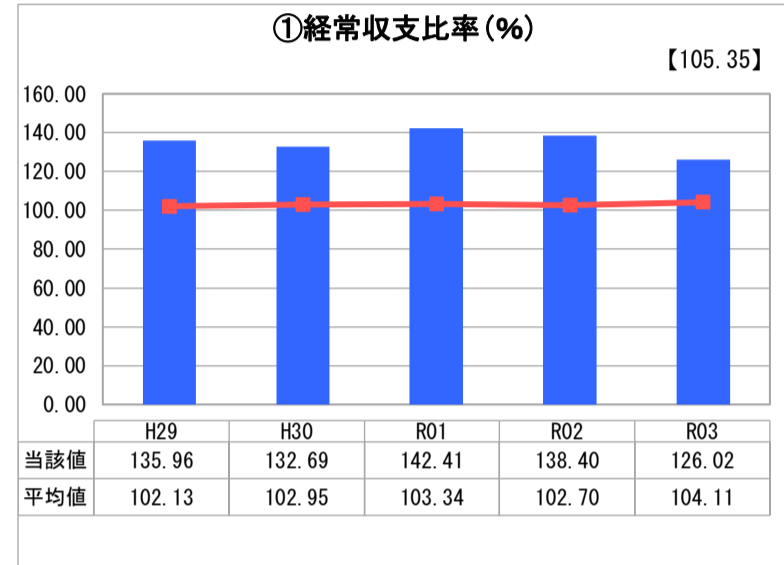
新潟県 妙高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.58	30.13	86.27	3,630

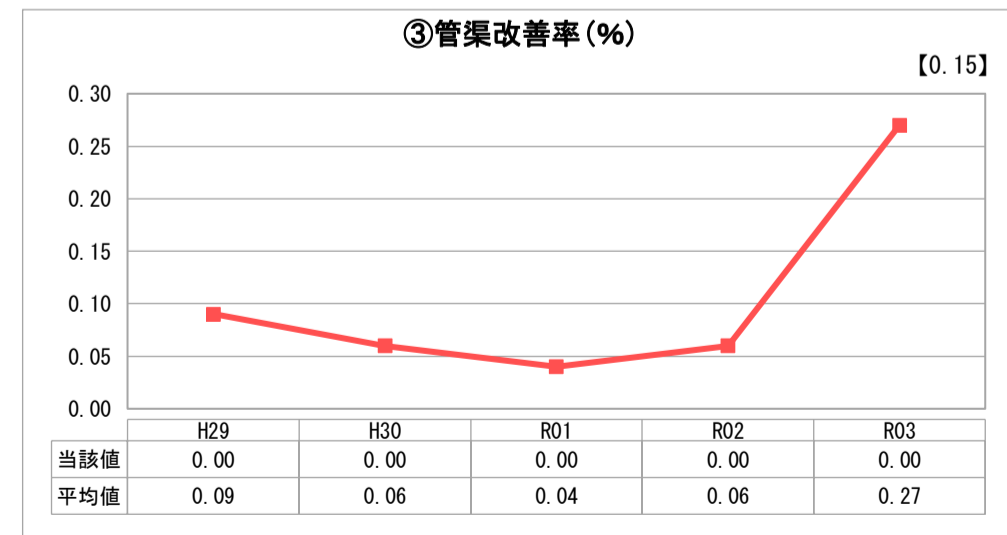
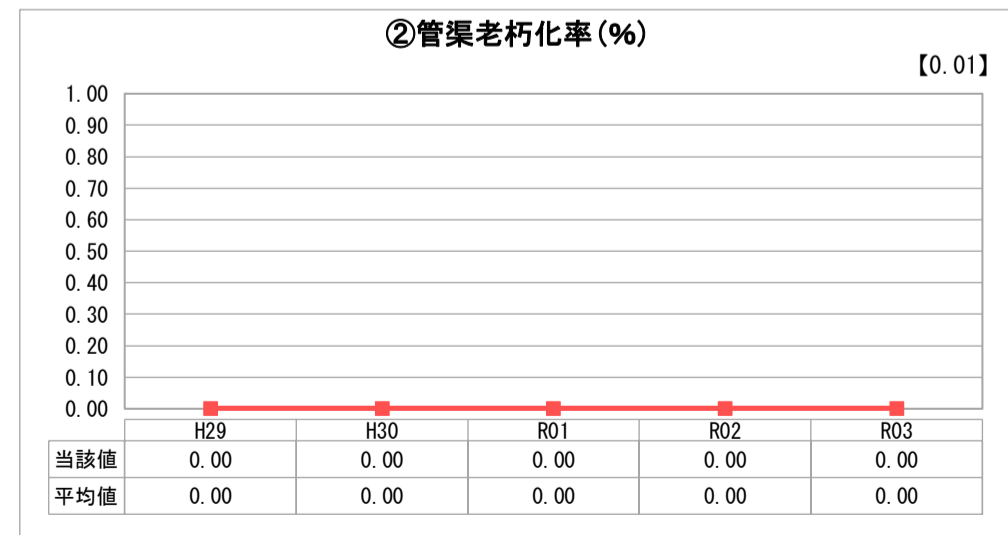
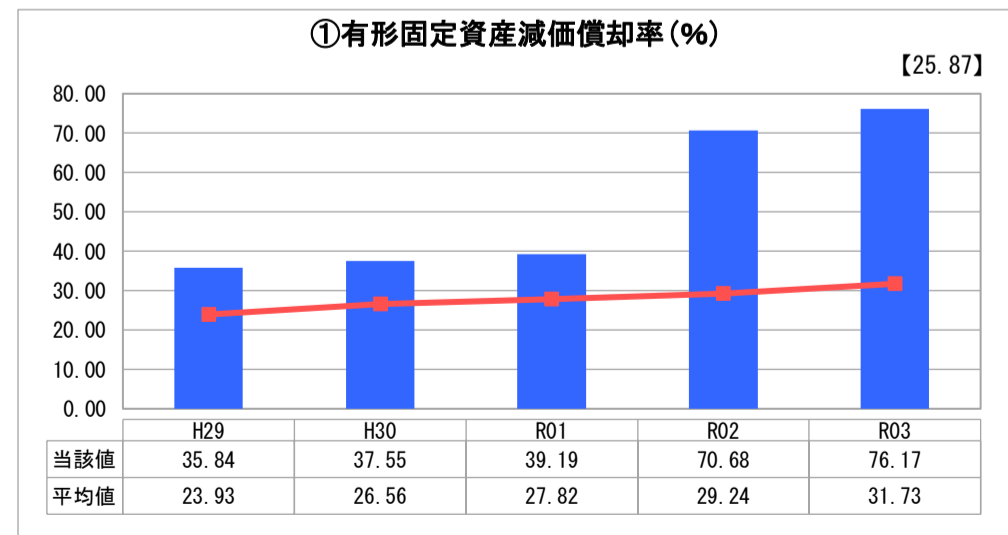
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,828	445.63	69.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,228	5.47	1,687.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回る黒字収支であり、類似団体と比較しても高い水準となっている。
- ②累積欠損金比率
R3年度は0%であり、現段階では健全経営である。
- ③流動比率
流動比率は100%を下回っているが、公共下水道と同一会計で事業を実施しており支払いに問題はない。
- ④企業債残高対事業規模比率
減少傾向にあり、類似団体より低い状況になっているが今後大規模な投資計画もあり、料金水準等の適正化に努めたい。
- ⑤経費回収率
類似団体より上回っており今後も健全経営を維持する。
- ⑥汚水処理原価
類似団体と同程度であるが、R3年度より高くなっており経営の効率化を進めていく。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較しても低くなっているが、施設の統廃合やダウンサイジングにより改善を図る。
- ⑧水洗化率
90%程度であるが面整備は完了しており、今後大幅な増加は見込めない。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体と比較して高いのは、浄化センターなどの建物の老朽化が進んでいると考えられるが、現在公共下水道との施設統合を実施中であり、事業完了後には適正な水準に戻る見込みである。
- ②管渠老朽化率
事業開始が比較的遅く、法定耐用年数も長いいため、現時点では0%となっている。
- ③管渠改善率
管渠老朽化率が0%のため、管渠改善率についても0%となっている。

全体総括

現段階では、経営の健全性は保たれており、類似団体と比較しても経営状況は概ね良好である。今後も、企業など大口需要家への接続促進など、有収水量の確保を図るとともに、老朽化施設の計画的な更新による負担の平準化や、処理量が著しく減少している区域の施設の統廃合を進めることで汚水処理量の縮減など効率的な事業経営に取り組むたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。